

2022 年度 0 時間目の記録

2022 年 5 月 2 日(月)~5 月 9 日(日)

栽培中の植物

- ジニア
- ハツカダイコン
- コリウス
- センニチコウ
- 4/15~四つ葉のクローバー
- 5/4~ コリウス・バジル
ダークオパールバジル
スイスチャード(赤・黄)
- シソ
- マリーゴールド
- バジル
- コスモス
- セントーレア
(宿根ヤグルマギク)
- キュウリ
- トマト
- カボチャ
- トウガラシ
- レタス
- ナス

栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
5/2 (月) 8:10	晴れ	気温(20℃)	【管理・植物の様子】 ● アブラムシの有無確認(毎日確認の上、駆除しているので、生息数は少ない) ● レタスを日陰に移動 ● セルトレイ灌水 ● ハツカダイコン灌水、プランターの向きを変える ● 13:00 レタスを日陰に移動
		最高(25℃)	
		最低(8℃)	
5/3 (火) 8:00	晴れ	気温(22℃)	【管理・植物の様子】 ● トマト・マリーゴールド・セントーレア・コリウスに灌水 ● レタスのアブラムシ駆除(一部まとめて発生箇所あり:写真①) ※毎日確認しているが、見落とすと一気に増殖するようだ ● コリウスの本葉が赤く色づき始めた(写真②)
		最高(25℃)	
		最低(9℃)	
5/4 (水)	晴れ	気温 (22.5℃)	【管理・植物の様子】 ● ナス・キュウリ・カボチャ・レタス・サンチュ・シシトウ・ピーマン・シロタエギク・ナス タチウムに灌水 ● サンチュのアブラムシ駆除 ● サンチュのスペーシング ● ナスタチウムをひとつ東側のベンチへ移動 ● アカダニ?がサンチュにいたので駆除。入口の水道付近にも数匹確認 (⇒サンチュにいたのはハダニ、水道付近にいたのはタカラダニの可能性あり) ● サンチュ(青)で、1株かなりしおれた葉が多かったため、その部分の葉を切除 ● クローバーで本葉が出てきた(10株)
		最高(25℃)	
		最低 (10.5℃)	

2022 年度 0 時間目の記録

			<p><13 時頃></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たに、バジル、ダークオパールバジル、スイスチャード、コリウスが搬入 ● サンチュにアブラムシを大量に認め駆除(一番下の小さな葉の裏に多くみられる)(写真④)→葉が重なりあっている事で日光と通風不足と考えられるのでナス、サンチュをスペーシングした。 ● 黒い蝶が一羽、温室内にいたため捕獲し外へ(写真撮れず) ● 搬入されたバジルに 1 匹アカダニ?発見。その後、生育中のサンチュ(赤) 1 株に小さなアカダニ?が大量についているのを発見、駆除(写真③) <p><上記の件について豊田先生にメールにて質問></p> <p>【先生からの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫の種類は、ハダニ(アカダニともよばれることがある)だと考えられる。ハダニは、オルトランなどは効果がなく、ハダニ専用の殺虫剤、もしくは、先日購入した殺虫剤を直接噴霧することで効果があるかもしれない(→確認したところ、適用病害虫に該当していたため使用可能)。 ・あるいは、ダニがついている葉を取り除き、ビニール袋に入れて捨てるのがよい。ハダニは翅がないため歩いて移動する。バケツやゴミ捨て場に被害を受けた葉を置くと防除効果が減少する。 ・タカラダニという種類のダニもアカダニと呼ばれることがあり、この時期からコンクリートの上を歩き回る。こちらは作物への害はないといわれている。 <p>(参考)</p> <p>https://www.earth.jp/earthgarden/zukan/gaichu/takaradani.html</p>				
5/5 (木)	晴れ	<table border="1"> <tr> <td>気温(22℃)</td> <td rowspan="3">【管理・植物の様子】</td> </tr> <tr> <td>最高(28℃)</td> </tr> <tr> <td>最低(12.5℃)</td> </tr> </table>	気温(22℃)	【管理・植物の様子】	最高(28℃)	最低(12.5℃)	<p>● トマト、ナス、キュウリ灌水</p> <p>● 昨日サンチュの大量のアブラムシは殆どいなくなっていた。ハダニも少なくなっていた。スペーシングの効果あり(←スペーシングの効果かは不明。ただし、通風改善でアブラムシ、ハダニの生育環境が悪くなった可能性は考えられそう)</p> <p>● キュウリの葉にうどんこ病(写真⑤) 1 枚の葉を切り捨てた。</p> <p>● サンチュ、レタスの苗は、朝見たときは水分が足りているようだったが、昼にはしおれていたなので、13 時に灌水した。夕方には元気になった。苗も大きくなり気温も上昇するので、蒸散も盛んになっている。</p>
気温(22℃)	【管理・植物の様子】						
最高(28℃)							
最低(12.5℃)							
5/6 (金)	晴れ	<table border="1"> <tr> <td>気温(20℃)</td> <td rowspan="3">【管理・植物の様子】</td> </tr> <tr> <td>最高(29℃)</td> </tr> <tr> <td>最低(16℃)</td> </tr> </table>	気温(20℃)	【管理・植物の様子】	最高(29℃)	最低(16℃)	<p>● 4つ葉のクローバー以外全部灌水</p> <p>● きゅうりの葉にうどんこ病。ロハピ(カプリン酸グリセリル)散布 葉の表のみ</p> <p>● マリーゴールド スペーシング</p> <p>● アブラムシ駆除</p> <p>● 18時 サンチュに灌水(水不足の物に)</p> <p>【指導内容】</p> <p>● ハツカダイコン 下葉の養分がぬけて黄色に変色</p>
気温(20℃)	【管理・植物の様子】						
最高(29℃)							
最低(16℃)							

2022 年度 0 時間目の記録

			<p>プランターに8株ぐらいになるよう収穫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マリーゴールド 2番花も摘むようにする ● スイスチャード ミックス 間引かない(スペーシングを行う) <p>胚軸の色をみて色は判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鉢が小さいと水やりの回数も多くする必要がある ● トマトの花房は片側につくので、花房を通路側にして植える(収穫がしやすいように) ● 何故葉の色が悪いのかなど植物の様子をみてN・P・Kの不足を考える ⇒不足する養分によって葉色が、症状が出る部位が異なる(「野菜/草花 生理障害」で検索してください) ● ハダニ 卵で増える 小さく動かない レタスの葉などによくつく 葉を取って捨てるなど駆除する ● タカラダニ 赤色 ハダニより大きい コンクリートにいる よく動く 害は無い ● オンシツコナジラミ 白色 卵で増える 飛ぶ 葉の裏につく 駆除する ● 害虫駆除に 風通しも大切 ● 液肥をあげた次の日は 様子を観察する(播種、移植、定植、薬剤散布、その他の管理作業を行った翌日も同様に異常がないか、薬剤が効いているかなど観察する) ● 葉がシワシワ、茶色などの時は液肥の濃度が濃かったか、日が射して濃度が濃くなったなどの理由が考えられる ● 植物の成長が著しくなってきたので、様子を見て対処していくことが大切
5/7 (土) 8:00	晴 れ	気温(24℃)	【管理・植物の様子】
		最高(29℃)	● トマト(全部)、サンチュ(一部)に萎れが見られ灌水
		最低(14℃)	<ul style="list-style-type: none"> ● 四つ葉のクローバー、マリーゴールド(スペーシングしてあるもの)に灌水 ● ハツカダイコン、ナスタチウムは各自の判断で灌水 ● キュウリ、トマト、サンチュにアブラムシが付いていたため、綿棒を使って駆除。サンチュの葉裏にたくさん付いているものは、葉ごと取って廃棄 ● 昨日口ハピを散布(うどんこ病対策)したキュウリの葉を観察。特に変化なし ● 夕方、定植が延期となった野菜苗に灌水(トマト以外) <p>※ 本日定植予定だったため朝の灌水を見合わせたか、晴天で気温が高かったこともあり、夕方にはかなりぐったりした様子が見受けられた</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夕方、収穫適期となったハツカダイコンを各自で収穫
5/8 (日) 8:30	晴 れ	気温(20℃)	【管理・植物の様子】
		最高(30℃)	● 全ての野菜苗に灌水。昨日植え付けた分区園のトマトにも灌水
		最低(14℃)	<ul style="list-style-type: none"> ● 葉が重なってきたマリーゴールド、コリウス(ポット苗)はスペーシング ● 野菜苗にアブラムシが付いていたため、手や綿棒により駆除 ● ハツカダイコンを各自で収穫(写真⑦) ● 昼、先生から摘蕾するように指導を受けていたマリーゴールドの2番花・3番

2022 年度 0 時間目の記録

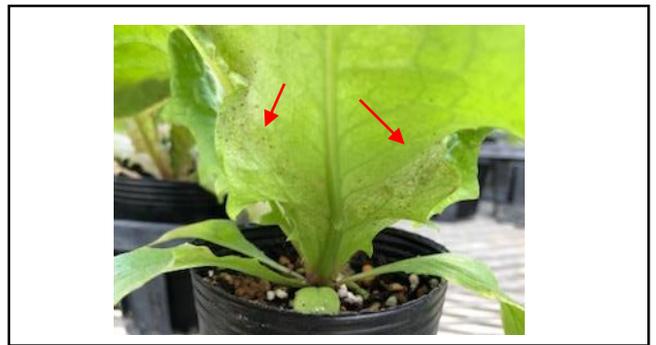
			<p>花の摘蕾を実施。蕾と若い葉の周辺にアブラムシが多く、摘蕾と並行して手や綿棒によりアブラムシの駆除もおこなった</p> <ul style="list-style-type: none">● 昼にトマトとキュウリ、夕方にマリーゴールドに萎れが見られ、それぞれ灌水 <p>※ 晴天で気温が高く、また植物の生育も進んでおり、灌水のタイミングや灌水水量に注意して管理する必要がある</p>
--	--	--	---

(写真は次のページ)



写真① レタスの葉の裏にアブラムシ発生 (一か所集中)

写真② コリウスの本葉が赤く色づき始めた



写真③ サンチュウの葉の裏面のアブラムシ

写真④ サンチュウの裏のアカダニ (両サイドの筋に見える部分)

2022 年度 0 時間目の記録



写真④キュウリの葉にうどんこ病



写真⑤ ロハピ(カプリン酸グリセリル)散布



写真⑥ マリーゴールドにアブラムシ



写真⑦ 収穫したハツカダイコン